

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) A Proposal on Measuring Volume of Expanded Bladder by Ultrasonography	共	2019年3月	愛媛県立医療技術 大学紀要、印刷中	論文全体の概要: エコー像を用いて膀胱内容積を計算するための、新たな近似法を検討する必要があるについて報告した。 (当該論文のページ数:11頁) (Noritaka OKAMURA, Yohei KAWANAKA) 担当部分の概要: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
2 (学術論文) 前立腺の上皮細胞過形成は 排尿障害を惹起する可能性 がある	単	2019年3月	医療工学雑誌、第 13号、P1-P8	論文全体の概要: 背葉前立腺の上皮細胞密度の増加によって、マウスにおける排尿障害が惹起されることを明らかにした。 (当該論文のページ数:8頁)
3 (国内学会発表) アデニン誘発慢性腎不全マ ウスの新しいヒト CKD モデ ルとしての有用性の検討	共	2015年8月	第10回日本臨床検 査学教育学会学術 大会	発表全体の概要: マウスにアデニン添加飼料を摂食させることにより、簡便に慢性腎臓病モデルを作製できる可能性があることを報告した。 (川中洋平、兒玉安史、藤原章、谷口良彦) 担当部分の概要: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
4 (学術論文) アデニン誘発型慢性腎不全マ ウスモデルを使用した尿中細 胞形態検査 《筆頭論文》	共	2013年3月	医療工学雑誌、第7 号、P1-8	論文全体の概要: アデニン誘発型慢性腎不全マウスモデルを用いて、腎機能の低下に伴い尿中に剥離してくる細胞の形態的特徴についての検査方法について概説した。 (当該論文のページ数:8頁) (川中洋平、藤原章、焼廣益秀、南山求) 担当部分の概要: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。
5 (国内学会発表) マウスにおける排尿動態と前 立腺病理組織像の関係	共	2010年4月	平成22年度愛媛県 臨床検査学会・定期 総会	発表全体の概要: マウスにおける前立腺肥大の程度を腺腔上皮細胞密度を用いて定量化し、さらにこれが排尿動態(排尿持続時間、1回排尿量)と逆相関関係にあることを報告した。 (川中洋平、昆和典) 担当部分の概要: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能。